

事務連絡
平成26年12月27日

剣道部顧問 様

下記の件につき、宜しくお願い致します。申込書はダウンロードしてから手書きでご記入下さい。

1. 称号推薦認定会および八段受審者講習会について

- ・申込書に審査料、講習料を添え2/9(月)迄に書留にて申込み下さい。
- ・称号推薦認定会にあたっては、1年以内に講習会を2回受講していること。剣道手帳の講習会等の欄のコピーも添えて下さい。
- ・審査料 教士 9000円
 錬士 7000円
- ・講習料 八段 3000円

問い合わせ・申込先：埼玉県剣道連盟高校剣道連盟事務局
埼玉県立大宮東高等学校内
津坂 宗秀

〒337-0021

さいたま市見沼区膝子567

TEL 048-683-0995

FAX 048-680-1900

埼 剣 連 第 392 号
平成 26 年 12 月 26 日

加 盟 団 体 長 様

公益財団法人 埼玉県剣道連盟
会 長 野 澤 治 雄

剣道・居合道・杖道 称号推薦認定会及び
居合道・杖道六・七・八段並び剣道八段受審者講習会について

このことについて、下記のとおり実施いたします。
つきましては、該当者に受審(受講)資格等を周知徹底の上、申込個票で申し込んでく
ださい。

記

1. 錬士号及び教士号推薦認定会

- (1) 日 時 平成 27 年 2 月 28 日(土) 午前 9 時 10 分受付開始
午前 9 時 4 0 分受付終了
午前 10 時開始
- (2) 会 場 埼玉県立武道館 主道場 剣道・杖道
第二道場 居合道
- (3) 受審資格
- ①錬士号:六段受有後 1 年以上を経過(平成 26 年 5 月 31 日以前に取得)した者
 - ②教士号:七段受有後 2 年以上を経過(平成 25 年 5 月 31 日以前に取得)した者
 - ③ 1 年以内に埼剣連派遣講師の講習会を 2 回受講していること
(剣道手帳の写しを添付)
- (4) 審査内容
- ①剣 道:日本剣道形・審判法・指導法等の知識、実技について能力の認定を
行う。
 - ②居合道:実技、審判法を行う。
 - ③杖 道:指定 6 本、仕と打を交代して行う。
①～③は、指導法等として「小論文」を当日受付に提出する。
(社会体育指導員認定者も全員提出する。)

訂正（差し替え）

称号推薦認定会

（公財）埼玉県剣道連盟

《平成25年度 理事会・合同会議》での確認事項

1, 称号推薦認定会について

(1) 指導法等として「小論文」を当日、受付に提出する。

(2) 社会体育指導員(上級認定者)は、全剣連が行う「教士号」で筆記試験は免除される。

また、社会体育指導員（中級認定者）は、全剣連が行う「錬士号」で論文が免除される。

2, 推薦認定基準を明確にする

(1) 認定内容

①日本剣道形 →

②審判法 → の知識、実技

③指導法等 → 小論文の提出、問題に正対しているか否かで認定する。

①②③のいずれかに3つ以上「否」の場合は、推薦に値しない。（例-①×××）

《平成26年度 理事会・合同会議》での確認事項

1, 称号推薦認定会合格者は、一年間有効とする。

2, 称号推薦認定会において不合格となった場合 →

① ②③のいずれか「不合格」となった場合は、再認定会を受けることができる。

ア 再認定会は、「不合格」となった内容について、「一回のみ」とする。

イ 再認定会において「不合格」となった場合は、次回は、新たに称号推薦認定会から始める。

ウ 全剣連「教士・錬士」審査会において「不合格」となった者は、一回のみ再審査を受けることができる。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号
平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

印

(旧姓)

2 生年月日

年	月	日生	年齢 満	歳
---	---	----	------	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

取得年月

登録県名

称号	錬士	段位	段
年 月		年 月	
登録県名		登録県名	

顔写真を貼って
から提出し
てください
(3 cm × 4 cm)

5 全剣連番号

6 住所

〒

7 電話番号

	携帯番号	
--	------	--

8 職業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成 年 月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

剣道 居合道 杖道 審査会申込書

加盟団体N°		加盟団体名		申込日 平成 27年 月 日											
38		高 校													
受審項目を○で 囲んでください				審査会場				審査日時				1日目 2日目			
初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審		実技合格月日			
										形	学科				
全剣連番号				現段級位受領年月日				現段位登録申請県名				錬士受領年月日			
				昭 平 年 月 日											
氏 名				旧 姓		性別		生 年 月 日				年 齢			
刀がナ						男		大							
氏名						女		昭 年 月 日				平			
〒		住 所						電 話 番 号							

職業番号を○で囲んでください

1 中学生	2 高校生・大学生・専門学校等	3 警察官	4 自衛官		
⑤ 教員	6 公務員	7 会社員	8 自営業		
9 農林水産業	10 主婦	11 その他	12 無職		
学校名		学年		下部団体名	

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

----- キリトリ -----

加盟団体控え

申込日 平成 27年 月 日

刀がナ										審査日時			
氏名										審査会場			
受審項目を○で 囲んでください		初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審	
												形	学科
〒		住 所						電 話 番 号					
学校名					学年			下部団体名					

「審査会申込書」記入上の注意事項

※ 下記の注意事項に従い、記入もれや誤記がないよう、証書で確認し、かい書で丁寧に記入してください。誤記があると、合格者全員の証書の交付が大幅に遅れます。

※ 審査会申込書は、各自の所属する加盟団体の受付要領に従い、加盟団体へ提出してください。

※ 個人情報保護法への対応について

申込書に記載される個人情報(登録県名、称号、段位、漢字氏名、仮名氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等)は(財)全日本剣道連盟及び(公財)埼玉県剣道連盟が実施する審査会運営のために利用します。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人化情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがあります。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがあります。

- 1 審査会申込書 受審する項目(剣道、居合道、杖道)を○で囲む。
- 2 申込み日時 申込書を各加盟団体に提出する月日を記入する。
- 3 加盟団体No 下記の加盟団体の整理番号を記入する。

1 草加	6 杉戸	11 行田	16 川越	21 川口	27 大宮	32 深谷	37 警察
2 八潮	7 久喜	12 所沢	17 飯能	23 蕨	28 上尾	33 寄居	38 高校
3 越谷	8 幸手	13 東入間	18 西入間	24 戸田	29 鴻巣	34 本庄	39 居合道
4 吉川	9 加須	14 狭山	19 東松山	25 朝霞	30 北本	35 秩父	40 大宇
5 春日部	10 羽生	15 入間	20 小川	26 浦和	31 熊谷	36 小鹿野	41 杖道
- 4 加盟団体名 上記の加盟団体名を記入する。
- 5 受審項目 受審しようとする、初段～八段、錬士、教士、再審のいずれかを○で囲む。再審は、形、学科のいずれかを○で囲み実技合格年月日を記入する。審査会場、審査日時の項目は受審者すべてが記入する。審査日時1日目、2日目の項目は、八段受審者のみ希望の日を○で囲む。
- 6 全剣連番号 現段位の証書に記載された全剣連番号を記入する。誤記入、記入もれが多いので注意する。現段位を他県で登録申請した者は、特に注意する。初段受審者は記入しない。
- 7 現段級位受領年月日 現段級位の証書に記載された年月日を和暦で記入する。現段位受有後、下記規定の修業年数に満たない者は受審できない。

初段 一級受有後30日以上で、 受審日に満13歳以上の者	五段 四段受有後4年以上修業した者
二段 初段受有後1年以上修業した者	六段 五段受有後5年以上修業した者
三段 二段受有後2年以上修業した者	七段 六段受有後6年以上修業した者
四段 三段受有後3年以上修業した者	八段 七段受有後10年以上修業し、 年齢46歳以上の者
- 8 現段位登録申請県名 初段受審者は記入しない。登録申請をした県名を記入する。東京都の場合は、区まで記入する。
- 9 錬士受領年月日 教士受審者のみ記入する。錬士の証書に記載された年月日を和暦で記入する。
- 10 錬士、教士受審資格 錬士 六段受有後1年以上経過した者。
教士 錬士受有者で、七段受有後2年以上経過した者。
埼玉連派遣講師の講習を年度内に2回以上受講していること。
剣道手帳の「講習会参加確認印ページ」上部に氏名を自筆し、A4版でコピーを取り、審査会申込書の裏面にのり付けする。
- 11 氏名、住所 振り仮名は片仮名で記入する。生年月日は和暦で記入する。
年齢は受審日を起算とする。
旧姓は現段位の証書に記載されている姓を変更する場合のみ記入する。
- 12 職業欄 該当する職業の番号を○で囲む。
1, 2に該当する者は学校名、学年を記入する。
- 13 下部団体名 活動している○○道場、○○剣友会、○○スポーツ少年団、学校名、等を記入する。
- 14 加盟団体控え 審査会申込書に記入した項目と同じ事項を記入する。

剣道 居合道 杖道 高段者講習会申込書

申込日 平成 27年 月 日

講習会に ○印を付けて下さい			加盟団体No	加盟団体名		
			38	高 校		
六段	七段	八段	講習会会場			受講日時
全剣連番号		現段位受領年月日		現段位登録申請県名		下部加盟団体名
		昭 平 年 月 日				
氏 名		旧 姓	性別	生 年 月 日		年 齢
フリガナ			男 女	大		
氏名				昭 年 月 日		
〒		住 所			電 話 番 号	

職業番号を○で囲んでください

1	中学生	2	高校生・大学生・専門学校等	3	警察官	4	自衛官
⑤	教 員	6	公務員	7	会社員	8	自営業
9	農林水産業		10	主婦	11	その他	12 無 職

----- キリトリ -----

加盟団体控え

申込日 平成 27年 月 日

講習会に ○印を付けて下さい					
六段	七段	八段	下部団体名		
フリガナ			受講日時		講習会会場
氏名					
〒		住 所			電 話 番 号

「高段者講習会申込書」記入上の注意事項

※ 下記の注意事項に従い、記入もれや誤記がないよう、証書で確認し、かい書で丁寧に記入してください。

※ 高段者講習会申込書は、各自の所属する加盟団体の受付要領に従い、加盟団体へ提出してください。

※ 個人情報保護法への対応について

申込書に記載される個人情報(登録県名、称号、段位、漢字氏名、仮名氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等)は(財)全日本剣道連盟及び都道府県剣道連盟が実施する講習会運営のために利用します。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人化情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがあります。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがあります。

- 1 講習会申込書 受審する項目(剣道、居合道、杖道)を○で囲む。
- 2 申込み日時 申込書を各加盟団体に提出する月日を記入する。
- 3 受講項目 受講しようとする、六段～八段のいずれかを○で囲む。
講習会場、講習日時の項目を記入する。
- 4 全剣連番号 現段位の証書に記載された全剣連番号を記入する。
- 5 現段位受領年月日 現段位の証書に記載された年月日を和暦で記入する。
- 6 受講資格 五段以上の受有者で、全剣連規定の受審資格修業年数に満たない者でも受講できる。
- 7 現段位登録申請県名 登録申請をした県名を記入する。東京都の場合は、区まで記入する。
- 8 加盟団体No 下記の加盟団体の整理番号を記入する。

1 草加	7 久喜	13 東入間	19 東松山	26 浦和	32 深谷	38 高校
2 八潮	8 幸手	14 狭山	20 小川	27 大宮	33 寄居	39 居合道
3 越谷	9 加須	15 入間	21 川口	28 上尾	34 本庄	40 大学
4 吉川	10 羽生	16 川越	23 蕨	29 鴻巣	35 秩父	41 杖道
5 春日部	11 行田	17 飯能	24 戸田	30 北本	36 小鹿野	
6 杉戸	12 所沢	18 西入間	25 朝霞	31 熊谷	37 警察	
- 9 加盟団体名 上記の加盟団体名を記入する。
- 10 氏名、住所 振り仮名は片仮名で記入する。生年月日は和暦で記入する。
年齢は受審日を起算とする。
旧姓は、現段位の証書に記載されている姓を変更する場合のみ記入する。
- 11 職業欄 該当する職業の番号を○で囲む。
- 12 下部団体名 活動している○○道場、○○剣友会、○○スポーツ少年団、等を記入する。
- 13 加盟団体控え 高段者講習会申込書に記入した項目と同じ事項を記入する。